

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

11・9 開催 全員協議会報告

県民ハイキングに多数参加

— 全員協議会で意見交換

日時: 平成 28 年 11 月 9 日 (水) 19:00~

場所: 広島市西区民文化センター

- 議題: 1、県民ハイキングの現状と来年度以降の方向性
2、日本山岳協会の名称変更と広島県山岳連盟の対応
3、山岳連盟の長期ビジョンについて

出席者: 25 名 (名簿下記のとおり)

平田三男 (可部山岳会) 豊田和司 (マツダ親和会) 小林敏行 (可部山岳会) 永津信吉 (マツダ親和会) 岩内秀昭 (広登研) 山田雅昭 (理事長) 安藤和巳 (安藤縦走会) 岡谷良信 (副会長) 新山あゆみ (修大山岳会) 小田里子 (JAC) 京才昭 (会長) 杉本陽二 (マツダ親和会) 久保信義 (広島山岳会) 後藤裕司 (広大山の会) 野島信隆 (マツダ親和会) 江種幸男 (福山山岳会) 高中和明 (個人会員) 勝村博美 (個人会員) 仲井正美 (ひこばえ) 堀内輝章 (広島パイオニアクラブ) 大平哲也 (高体連) 西部伸也 (タンネン) 松井秀樹 (県庁山の会) 佐藤健 (CERO クライミングクラブ) 宮本由美子 (広島三峰会)

配布資料

- 1、県民ハイキング (予定表)・参加申込書
- 2、広島県山岳連盟長期ビジョン検討資料
- 3、公益社団法人日本山岳協会の法人名変更について

京才会長から挨拶があり、山田理事長の進行で開催された。

比婆山に 100 名参加

1、県民ハイキングの現状と来年度以降の課題

○可部冠山(7・3 実施 小林敏行報告): 車で参加した人が多かった。終了前に大雨となったが、行事はおおむね良かった。55 名参加。

○比婆山・毛無山 (8・11 実施 小田里子報告) 山の日に実施した。ハイキングと自然観察会に 100 名参加。暑かった。簡易トイレを紹介などハイキングの目的は達成できた。

○小室井山 (9・11 実施 松井秀樹報告) 参加人数は多かった。参加者の評判は良かった。岳連の PR にも役立った。来年度以降前向きに検討したい。78 名参加。

○恐羅漢山 (10・23 実施) 48 名参加。

2、日本山岳協会の名称変更と広島県山岳連盟の対応 (京才会長)

DVD「スポーツクライミング」を視聴した後、京才会長から日山協での協議報告があり出席者から意見が述べられた。主な意見は次の通りである。

①山岳もスポーツクライミングも安全登山を目標にしているので現在のままではどこに行けばよいか

からないので、スポーツクライミングに変更してもらいたい。スポーツクライミングは若い人が中心なので若い人の関心をもってもらうのによい。

②現在の山岳連盟の中にスポーツクライミングをつくればいいのではないか。

3、山岳連盟の長期ビジョンについて

(岡谷副会長)

岡谷副会長から現在までのアンケート結果について報告があった。当日出された意見は次の通りである。

①リーダーと指導員の接点があきりしていない。全体の中で意見を言ってくれない。

②高体連の場合、学校行事として山に連れて行くことはできるが、学校行事でない場合は連れて行けない。

③若い人はスポーツクライミングに目が向いている。福山平成大学のボードを使っていたが、福山で月 4 回程度に 20～30 人が受講している。

④加盟団体会員の高齢化が問題である。若い人に入ってもらおう方法はないか。

⑤登山届をきちんと提出してもらいたい。加盟団体の遭難事故、トラブル等について情報を収集して流してもらいたい。岳連のホームページに載せる事。(事務局：ホームページの修正報告について技術的にできる人がほしい。)

トピックス

恐羅漢山 48 名参加

安全登山への啓発を一県民ハイキング実行委

日時:2016・11・7 (月) 19:00～21:00

場所：岳連事務所

出席者：萬行・村井・山田・廣田・松井・小田・積山・井本・光石・和田・杉本・仲井 他

第 6 回県民ハイキング実行委員会が 11 月 7 日(月) 午後 7 時から県岳連事務所(住所西区横川町)で開催された。山田理事長ほか 15 名が出席した。

議題は、1、第 5 回県民ハイキング(恐羅漢山)報告

- 2、第 6 回県民ハイキング(高山・新高山)について
- 3、今後の開催日程、計画についてであった



県民ハイキング実行委員会 2016・11・7

主な意見は①募集案内には登山の楽しみ方、登山マナー、安全登山への啓発とあるのもう少しこれらを含めた取り組みが必要ではないか。②申し込み時に登山経験を記入してもらってはどうか。などの意見が出された。これまでの参加者は次の通り。

開催日・登山山域	一般	岳連関係	合計
7・3 可部	2 6	2 9	5 5
8・11 比婆山	2 4	2 5	4 9
9・11 小室井山	4 7	3 7	7 8
10・23 恐羅漢	1 8	3 0	4 8
11・20 高山・新高山	1 1	8	

高山・新高山は 11・7 現在申込者数

トピックス

ふるさとの山を登ろう！

県民ハイキング

広島県山岳連盟では、広く県民のみなさまに自然を親んでもらうとともに、登山の楽しみ方、登山のマナー、安全登山への啓発を兼ね県民ハイキングを実施しています。ご参加をお待ちしています。

実施予定は次のようになっています。ただし前日 19

時での降水確率 50%以上は中止（問い合わせは
TEL090-4890-5078）

山城：三段峡～恐羅漢山～三段峡
人数：10名（スタッフ含む）

（①～⑦は実施済み）実施日 山名（標高） 所在地
集合場所 ・ 集合時間 担当団体

⑧ 1月22日（日）岳浦山（491m）倉橋島
現地登山口 9:30 ひこばえ

⑨ 2月19日（日）日浦山（345,9m）安芸郡海田町
海田駅北口 9:00 マツダ親和会

⑩ 3月26日（日）呉婆々宇山（682m）広島市安芸区
水分峡管理棟 8:30 広島三峰会

募集概要

- ①対象は、小学生以上。実施日、集合場所、集合時刻は表の通り（集合時間になりましたら出発します。）
- ②参加費（含む傷害保険加入料）、1,000 円/一人、交通費別
- ③携行品：昼食・水筒・雨具・懐中電灯・防寒防風衣・帽子・手袋・タオル・ティッシュ・健康保険証
- ④服装：靴、長そでシャツ、長ズボン、靴は登山靴をお勧めします。
- ⑤申し込み方法：原則的には実施日の1週間前までに、はがき、FAX、或いはメールにて、つぎの項目を記入の上広島県山岳連盟へお申込み下さい。
登る山・住所・氏名・性別・生年月日・携帯電話番号・緊急連絡先
- ⑥参加申し込み先 一般社団法人 広島県山岳連盟
「県民ハイキング」係 〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17 電話・FAX 082-296-5697
E-MAIL hgakuren@lime.ocn.ne.jp
- ⑦キャンセル：必ず実施3日前までに連絡ください。
- ⑧備考：行動中の事故については、応急処置のみにて、その後の責任は負いません。

参加者集合写真のホームページ掲載は承諾ください・

第7回登山教室を終えて

実施日：10月22日（土）～23日（日）

登山形態：テント泊縦走

第7回目1年生は初の縦走形式のテント泊として三段峡～恐羅漢山～三段峡を歩いてきました。初日は雨の中、テント泊装備を担いでズルズル滑る登り下りを体験し、タイムスケジュールを見ながら歩行速度を意識して歩きました。（指導部 森本寛）

感想文

テント装備を担いで雨の中登る

登山教室1年 宮本政明

10月22日（土）23日（日） 三段峡～恐羅漢山 『テント装備を担いで、2日間歩く！』をテーマに、三段峡～恐羅漢山を歩いた。心配していた雨は、横川駅から三段峡へ向かう途中で降り始めた。1年生の山行は、本当に雨が多い。8時38分レインウェアを着て歩き始める。

三段峡を歩くのは20年振りになる。その時の事は殆ど記憶にないが、ただただ歩き続けた事だけ覚えている。今回は、事前に調べたポイントを確認しながら歩いた。滝や淵、紅葉にはまだ早かったが、雨に濡れた風景がとても綺麗だった。

三段峡を抜けた後、砥石郷山へ向かった。「キツイ」とは聞いていたが、これほどとは思わなかった。傾斜が強くて、なかなか登れない。下を向いてひたすら登る。途中で上を向くと、目に入る直登に気持ちが萎える。おまけに、雨に濡れた斜面は脚をとられやすく踏ん張り難い。下りで後傾になると滑りやすい様に、登りで前傾が強くなると滑りやすくなる。条件が悪い中で歩くとよくわかる。

エコロジーキャンプ場に到着。雨の中、テントを設置し寝床をキープ。後は、楽しい夕食。味もボリュームも申し分ない料理を美味しく頂いた。

2日目、ゲレンデを登り恐羅漢山へ向かった。朝一からキツくて息が切れる。

「昨日の直登に比べれば・・・」と、自分に言い聞

かせながら登る。

この日一番の難所はココだと思っていた。宮里山からの下りに入るまでは。心肺的な辛さは無いのだが、思っていた以上に続く急坂で膝が痛みだす。早めにストックを使うべきだったと反省。16時45分 三段峡正面口へ下山。計画より 20分早い。前日までエスケープルートの話もあった中、計画時間内で歩ききれた事が嬉しい。今回はスタート時から上原 SL が先頭を歩いて下さった。何時もより早いペースに遅れてしまう事もあったが、計画内で歩くために必要なペースだった事が分かる。次回の安芸アルプスでは、今回のペースを意識したい。

山岳連盟スタッフの皆様、上級クラスの皆様 お世話になりました。これからも宜しくお願い致します。



写真提供 森本覚

第7回登山教室を終えて

実施日:10月15日(土)~16日(日)

山城: 剣山~三嶺

登山形態: テント泊縦走

参加者: 9名(スタッフ含む)

第7回目はテント泊縦走の実践として剣山~三嶺に行ってきました。天候は快晴で剣山からの縦走は見通しが良く、気持ちの良い山行となりました。(指導部 森本覚)

感想文

晴天の中縦走

登山教室 2年 加村裕子

登山教室第7回目山行 剣山-三嶺 テント泊
実施日: 2016.10.14-16

登山教室 2年第7回目は、『テント泊縦走』というテーマで徳島にある剣山-三嶺でした。

このルートは何度か行ったことがあったので、計画書のルート状況がイメージ出来やすかったです。それでもコースタイムが自分達の過去のタイムと誤差がないか、水場や幕営地の状況・天候について、不明点・不安点が無いかを事前に調べミーティング時に皆でしっかりと話し合いました。リーダー・計画係・指導員の方のコミュニケーションがよく取れ、色々な状況を想定した計画になっておりとてもよく調べ上げているなど感心しました。私も計画係の役目がまだ残っているので皆が迷うような状況にならないように色々な事を想定して計画を立てれるようにならなければ!と勉強になりました。

山行当日は、稜線歩きは冷たい風が吹くと逃げ場がない為防寒対策をしっかりと行っていたのですが・・・、寒いのは剣山山頂の少しの間だけ。とても良い天気でも心地よい程度でむしろ暑いくらい。安定した晴れ間の中で長い長い稜線の小さなアップダウンをいくつも越えて行きました。緑の笹の稜線と雲一つない青空と秋を感じさせるススキを見ながらの今回の山行は、今まで皆で切磋琢磨して頑張ってきたご褒美をもらったような山歩きになりました。

また、途中で歩けなくなった人と遭遇し残りの山行を一緒に歩くことになりましたが、リーダー育成クラスの方や指導員の方の処置が素早いことと一緒に行動する中でも泊まりの縦走での持ち物についてや食事の摂り方など色々アドバイスをされていることを傍で見て聞かせて頂き私も勉強させて頂くことが出来ました。

2年の山行も残すところあと5回。無雪期の実習も

終わりこれから積雪期の実習に入り益々厳しい山行が始まります。寒さに弱い為対策をしっかりと行い実習についていけるように頑張ります。

引き続きご指導の程宜しくお願い致します。



写真提供 久保田征治

トピックス

第 55 回全日本登山大会島根大会参加報告

スローガン 世界遺産と神話の山を辿る

個人会員 勝村博己

大会目的 旧暦 10 月、八百万の神々が集うことから「神有月」と呼称されるここ島根の地に、全国の山仲間が集結し、出雲神話の舞台である「三瓶山」と、世界遺産「石見銀山」の核心部を辿ることで、登山技術の向上と参加者相互の縁を結ぶ。また、自然保護の精神と域の宝を再認識しあい、次世代への継承を誓う。(大会プログラム)

開催期日 平成 28 年 11・4 (金) ～6 (日) 2 泊 3 日

主管 島根県山岳連盟

開催場所 大田市、松江市

参加者 163 名

第 1 日

開会式 11 月 4 日 (金) 松江テルサ 13 時～13 時 30 分 13 時 40 分から 14 時 40 分まで「三瓶山と石見銀山」の記念講演 全員バスで宿舎の国立青少年交流の家に移動

開始式 11 月 4 日 (金) 17 時 15 分各コースに分かれ

て整列し、開始式に臨む。

19 時から夕食 他県ナンバーと交流する 就寝 22 : 30
第 2 日

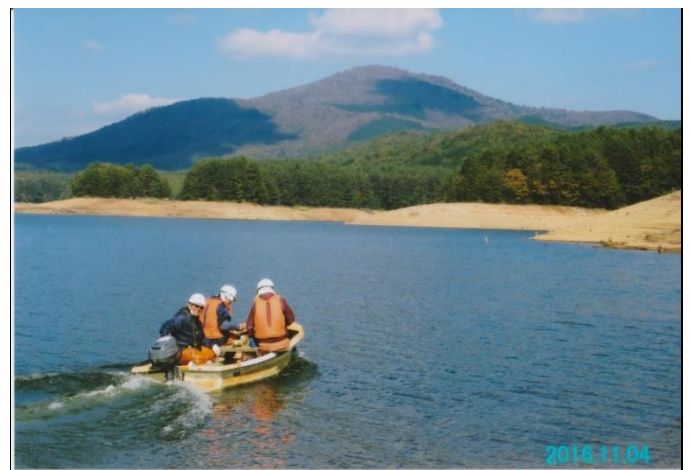
11 月 5 日 (土) 登山コースに分かれて出発 A コース三瓶全山縦走 11.3km 6 : 00 ～・B コース女三瓶・男三瓶山縦走 5,9km・C コース男三瓶山正面登山 7,8km・D コース大平山・室の内・孫三瓶山 8,8km・E コース石見銀山 8,2km 6 : 50 分～。B・C・D コースは 8 時 30 分出発。福永さんは E コース石見銀山に参加、私は D コース大平山・室の内・孫三瓶山に参加しました。予定より 35 分遅れて夫婦松登山口に下山、宿舎経由で松江会場に移動する。

18 時から閉会式が催され、全日本登山大会のシンボルのピッケルが島根県山岳連盟から 2017 年の開催地北海道山岳連盟に手渡され、再会を誓った。閉会式に引き続き 18 時 30 分から交歓会にうつり、2 日間の思い出を肴に酒を酌み交わした。

第 3 日 11 月 6 日 (日) 朝食後、自由解散。福永さんは海外遠征のため帰路に、私はオプションツアーの出雲の国・縁の旅 (八重垣神社・玉作湯神社・古代出雲歴史博

物館・出雲大社神門通り散策) コースに参加、出雲市駅や出雲空港で送りながら松江に戻り、最後の一日を過ごした。

岳連短信



聖湖より深入山望む

1、島根県部長遭難 13 日ぶりに救助

奈良県南部にある大峰山系系の弥山 (1895 年) に

登り、9 日から行方不明となっていた島根県の土木部長富樫篤英さん(53)を登山者の男性が 22 日午後 0 時 5 分ごろ発見、13 日ぶりに無事救助された。

奈良県警によると、全身を打ちあばら骨を折るなどしているが命に別状はない。

県警によると、9 日の下山中に道に迷い「登山道を外れて滑落した。湧水を飲んで過ごした」と話している。食料は持っていなかったという。(中略)

奈良県警によると、富樫さんは登山道から滑落し、全身を打って 2 日間は全く動けなかったが、手足が動かせるようになった 11 日に近くの湧水がある場所へ移動した。しかし、救助は来ず、体力が徐々に消耗。21 日、決意を固めて登山道へ戻るため崖を少しずつ登り、22 日午前 11 時ごろ、登山道にたどり着いたという。(中国 2016・10・23)

2、田中陽希氏講演会開催 12・9 福山

NHK/BS テレビにて放映、「日本百名山ひと筆書き踏破。開催日時 2016・12・9 (金) 16:00～約 1 時間 30 分の予定。場所：広島県アパレル工業組合会館(福山市新市町新市 3 1-1) 電話 0847-52-3344 受講料：無料

3、富士山滑落死者 2 人に 広島山岳会 山頂付近は凍結

富士山須走ルート 9 合目付近で 20 日に男性 2 人が滑落した事故で、行方不明になっていた広島市佐伯区美鈴が丘西 4 丁目、無職渡辺勝俊さん(65)が 21 日、山梨県側の 7 合目付近で見つかり、死亡が確認された。また静岡県警は、2 人のうち既に死亡が確認された 1 人は、光市三井 5 丁目、広島工業大学 1 年の末本伊武樹さん(18)と明らかにした。

静岡、山梨両県警によると、渡辺さんは 21 日午前 8 時 10 分ごろ、山梨県警が発見。心肺停止状態で、その後死亡が確認された。末本さんは 20 日午前 10 時ごろ「骨折したようで動けない」と自力で 110 番したが、その後さらに滑落。静岡県警が 7 合目付近で発見し、死亡が確認された。山頂手前で先に渡辺さんが滑り、安全な場所へ戻ろうとした末本さんも体制を崩して

滑落した。付近はアイスバーン状態だった。

2 人は日本山岳会広島支部が主催する 6 人パーティーのメンバー。登山家 3 人が広工大生 3 人の登山技術向上を指導する一環で富士山を訪れ、午前 6 時ごろ、山梨県側の吉田ルート 6 合目から山頂へ出発していた。(中国 2016・11・22)

4、岳連事務室図書から

- ①伊出啓文君追悼集 平成 2・6 広島修道大学山岳部 90 頁
- ②事故報告書(藤石典万氏)(穂高市尾根滑落事故) 平成 27・9 福山山岳会 20 頁
- ③名越實氏横尾尾根遭難事故 平成 26・10 広島山岳会 35 頁
- ④名越實追悼集 はるかなる高みへ 名越實追悼集編集委員会 平成 26・12・10 178 頁
- ⑤大山遭難事故報告書 平成 23・10・18 広島県山岳連盟大山事故報告書編集委員会 18 頁
- ⑥「山毛樺林より」高見和成遺稿追悼集 同編集委員会 悠々社 平成 11・2・22 183 頁
- ⑦山靴の音 登山教室の歩み 1999・2000・2001・2004・2005・2006・2010・3 期生・平成 18～20 広島県山岳連盟登山教室
- ⑧三原山歩きガイド 三原観光協会 協力三原山の会 27 頁
- ⑨大山 パークガイド 大山隠岐国立公園 (一社) 自然公園財団 2014・6 48 頁

5、平成 28 年度冬山技術研修会開催要項

目的：冬山(雪山)初心者には、雪山の体験と基礎技術について学んでいた台、ある程度の研修者には雪山技術をより確かなものとしていただくことを目的として冬山技術の研修会を開催します。

期日：平成 29・2・11 (土祝)～12 (日)

場所・集合：国立公園大山 2・11 10:00 大山情報館集合

宿泊：大山ゲストハウス寿庵(素泊まり)

参加資格：これから冬山(雪山)を目指す人・積極的

に冬山技術を習得したい方

定員：20 名 クラス：初級・中級・上級

指導スタッフ：日本体育協会公認山岳 s 動員 8 名予定

参加費：岳連会員・個人会員 10,000 円

一般 15,000 円 学生 5,000 円

(交通費・宿泊料@3,500 円 飲食費別

参加申し込み：参加当日

申し込み先：TEL/FAX：082-296-5599

広島県山岳連盟事務局 (住所 1 頁参照)

申込締切：平成 29 年 1 月 11 日 (水) 先着順

6、安全登山ハンドブックより

登山中 9つの危険

①道迷い

登山道には様々な道標があります。登り口や分岐にある道標は、方向を矢印で示し地名と時間或いは距離等が示されます。時間、距離はいずれも目安です。樹林帯には赤テープを木にまいたり、岩稜帯では石を積んだケルンがあります。

濃霧の中を歩いているうちに、自分がどこにいるのかわからなくなり、不安に陥ります。地形図とコンパスの使い方を熟知することが必要です。近頃は、GPS (グローバルポジショニングシステム) も活用できます。地形図もコンパスもなしで道に迷った時は、位置が分かる所まで引き返しましょう。

低山は、仕事道、枝道も縦横にありコースを誤ることがあります。低山は、高山よりも読み難いことも多いので注意が必要です。

②転倒、転落、滑落

急峻な登山道で転倒することは、すぐに転落に繋がります。転落は、人体に大きなダメージを与え、場合によっては死に至ることもあります。まず、転倒、転落しないことを心がけて歩きましょう。

転倒防止には、まず、足腰を鍛え、つまづかない体力を維持すること。危険な場所では、ゆっくり歩くこと。ロープ等の安全補助具を使う事。登山靴のひもをしっかりと締めて足が靴の中でぐらつかない事。防御策として、岩稜や岩場を歩くときは、ヘルメットを被ることをお勧めします。

③疲労

●熱中症・脱水症

熱中症は、夏の高温、多湿環境下で長時間行動すると起こりやすい症状です。衣服がびしょりとするほど汗をかき、水分補給を怠ると体温調整が利かなくなり、意識を失います。すぐに応急処置をしないと死に至ることもあります。行動に支障が出て脱水によると思われるなら、行動を中止し、直射日光を避け風通しの良い所に移動させます。上半身やや起して寝かせ、濡れタオルで上半身を拭き体を濡らし体温を下げる工夫をするとよいでしょう。

●低体温症

風雨中の長時間行動、雪崩に埋もれるなど長時間低温に晒され、身体の深部まで体温が下がってしまうのを低体温症といいます。脳や内臓器官の動きが麻痺し、最終的には死に至る傷害です。

夏山でも風雨に晒されることで起こります。症状は寒気を訴え、小刻みに震えがきて体を擦る行動をとり、ただボーとして動きが鈍いという様子が見受けられます。小刻みに震えがくる (悪寒) 段階の内に温かいものを飲ませ、温かい衣服に着替え、温かい場所に移動します。

④落石・火山ガス・火山噴火

登山者の多い富士山や槍ヶ岳・穂高岳の岩場・ガレ場は落石の多発地帯です。落石が襲ってきたときは、落ちてくる方向をしっかりと見極めて避ける事です。縦走路でも軽量でスマートなヘルメットを被るのも安全対策とし良いことです。自分が落としたら大声で「ラーク (落)」「落石」と下方に叫び注意します。

火山ガス、火山噴火についても注意が必要。火山ガスは、登山道に危険地帯の表示があるのでその指示に従う事で危険回避が出来ます。火山噴火は、気象庁の「火山登山者向けの情報提供ページ」を参照し、事前情報を入手しておきましょう。

⑤落雷

雷には夏の急激な上昇気流による積乱雲から発生する熱雷、春に多い寒冷前線付近で起きる界雷、二つが合わさった熱界雷があります。登山で最も注意を要

するのは、寒冷前線の縁で熱雷と界雷賀合体する熱界雷です。登山で多い熱雷の元は局地的に発生する積乱雲で、比較的容易に察知できます。雷を察知したらより低く比較的乾燥している窪地に身を寄せます。逃げ場のない尾根、ガレ場や岩場では、姿勢を低くして、雷雲が通り過ぎるのを待ちます。多人数の時は分散して退避行動をとります。稜線上での数珠つなかりは危険です。

⑥鉄砲水

台風や集中豪雨の時、山間部は要注意です。高山で保水層と呼ばれる積層土が少なく降り注いだ雨が直接水流になり谷に集中します。爆発的パワーで突然襲う鉄砲水が一番怖いです。鉄砲水は大岩から大木まで押し流す土石流を生みます。保水能力の高い森林が深く長い谷や複雑な地形の沢は、雨が上がったのちでも増水します。増水時の沢を渡るのは、いくら技術があっても危険です。安全な場所まで引き返し、下山路も含めて、沢筋を外したコースへ退避することも重要です。

岳連事務局当番表 13:00～17:00

曜日	当番・担当者
月	岩内 平田 杉本
火	萬行
水	平田 杉本
木	平田
金	岩内 萬行 杉本

事業計画 2017 年 1 月

- 1・8 (日) 新年互礼会 (宮島)
- 1・11 (水) 運営会議⑩
- 1・12 (木) 登山教室①②机上 (三篠公民館)
- 1・14 (土) ～15 (日) 指導員積雪期実技 (大山)
- 1・18 (水) クライミングビジナーズレッスン
- 1・18 (水) スカイラン実行委員会④
- 1・20 (金) 国体・インターハイ 報告会・岳連新年互礼会
- 1・21 (土) ～22 (日) 登山教室② (大山大休峠)
- 1・22 (日) 登山教室① (深入山)

1・22 (日) 県民ハイキング⑧ひこばえ (倉橋・岳浦山)

山の風景 69

聖湖より臥竜山

2016・9・27

写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。写真説明、写真提供者を記入ください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美